

議 事 日 程

令和8年第1回定例市会第7日
令和8年5月11日午後2時開議

- 第1 議席の一部変更の件
- 第2 市会議長辞職の件
- 第3 市会議長選挙の件
- 第4 市会副議長辞職の件
- 第5 市会副議長選挙の件

神 戸 市 会 議 長

出席議員（63名）

欠

員（1名）

欠席議員（1名）

1 番 前 田 あ き ら 君
 3 番
 5 番 の ま ち 圭 一 君
 7 番 木 戸 さ だ か ず 君
 9 番 岩 佐 け ん や 君
 11 番 坂 口 有 希 子 君
 13 番 上 原 み な み 君
 15 番 平 田 正 君
 17 番 な が さ わ 淳 一 君
 19 番 黒 田 武 志 君
 21 番 や の こ う じ 君
 23 番 う え な か 美 貴 子 君
 25 番 大 野 陽 平 君
 27 番 宮 田 公 子 君
 29 番 朝 倉 え っ 子 君
 31 番 赤 田 か っ の り 君
 33 番 外 海 開 三 君
 35 番 高 橋 と し え 君
 37 番 伊 藤 め ぐ み 君
 39 番 平 野 達 司 君
 41 番 吉 田 健 吾 君
 43 番 山 下 て ん せ い 君
 45 番 徳 山 敏 子 君
 47 番 あ わ は ら 富 夫 君
 49 番 大 か わ ら 鈴 子 君
 51 番 松 本 の り 子 君
 53 番 平 野 章 三 君
 55 番 川 内 清 尚 君

2 番 森 田 た き 子 君
 4 番 岩 谷 し げ な り 君
 6 番 原 直 樹 君
 8 番 浅 井 美 佳 君
 10 番 萩 原 泰 三 君
 12 番 香 川 真 二 君
 14 番 川 口 ま さ る 君
 16 番 さ と う ま ち こ 君
 18 番 山 本 の り か ず 君
 20 番 か じ 幸 夫 君
 22 番 な ん の ゆ う こ 君
 24 番 村 上 立 真 君
 26 番 細 谷 典 功 君
 28 番 門 田 ま ゆ み 君
 30 番 味 口 と し ゆ き 君
 32 番 三 木 し ん じ ろ う 君
 34 番 住 本 か ず の り 君
 36 番 諫 山 大 介 君
 38 番 岡 田 ゆ う じ 君
 40 番 上 畠 寛 弘 君
 42 番 植 中 雅 子 君
 44 番 し ら く に 高 太 郎 君
 46 番 高 瀬 勝 也 君
 48 番 西 た だ す 君
 50 番 森 本 真 君
 52 番 大 井 と し ひ ろ 君
 54 番 よ こ は た 和 幸 君
 56 番 村 野 誠 一 君

57 番 河 南 忠 和 君
 59 番 平 井 真 千 子 君
 61 番 松 本 し ゅ う じ 君
 63 番 菅 野 吉 記 君
 65 番 吉 田 謙 治 君

58 番 山 口 由 美 君
 欠60 番 坊 池 正 君
 62 番 堂 下 豊 史 君
 64 番 壬 生 潤 君

議事に参与した事務局職員

市会事務局長 近 都 正 之 君
 議 事 課 長 竹 下 弘 一 君
 政 策 調 査 課 長 上 月 崇 生 君
 議 事 課 係 長 吉 森 健 人 君

市会事務局次長 末 若 雅 之 君
 総 務 課 長 尾 田 広 樹 君
 議 事 課 係 長 四 方 惇 史 君

出席説明員

市長	久元喜造君		
副市長	今西正男君	副市長	小松恵一君
副市長	黒田慶子君		
教育長	福本靖君	選挙管理委員会 委員長	北川道夫君
人事委員会 委員長	福井誠君	監査委員	福本富夫君
危機管理監兼 危機管理局長	加古裕二郎君	企画調整局長	西尾秀樹君
行財政局長	正木祐輔君	地域協働局長	金井和之君
文化スポーツ局長	三重野雅文君	福祉局長	八乙女悦範君
健康局長	熊谷保徳君	こども家庭局長	丸山佳子君
環境局長	柏木和馬君	経済観光局長	大畑公平君
建設局長	原正太郎君	都市局長	松崎吉希君
理事兼都市局 都心再整備本部長	中原信君	建築住宅局長	増田匡君
理事兼港湾局長	山本雄司君	消防局長	上山繁君
水道局長	坂田昭典君	交通局長	城南雅一君
教育委員会事務局長	竹森永敏君	選挙管理委員会 事務局長	長谷英昭君
監査事務局長 兼人事委員会 事務局長	中田裕子君	会計室長	片野敦靖君
行財政局副局長	安居大樹君	行財政局財務課長	中川琢磨君

(午後2時0分開議)

(菅野議長議長席に着く)

○議長(菅野吉記君) ただいまより本日の会議を開きます。

最初に、諸般の報告を申し上げます。

報道機関による傍聴席での撮影及び録音の許可についてであります。産経新聞社、神戸新聞社、毎日放送より本日の本会議の様子を撮影及び録音したい旨の申出があり、許可いたしましたので御報告申し上げます。

次に、議場出席説明員に異動がありましたので、順次御紹介申し上げます。

水道局長、坂田昭典君。

(自席で起立)

理事兼港湾局長、山本雄司君。

(自席で起立)

危機管理監兼危機管理局長、加古裕二郎君。

(自席で起立)

こども家庭局長、丸山佳子君。

(自席で起立)

都市局長、松崎吉希君。

(自席で起立)

建築住宅局長、増田 匡君。

(自席で起立)

消防局長、上山 繁君。

(自席で起立)

人事委員会委員長、福井 誠君。

(自席で起立)

行財政局財務課長、中川琢磨君。

(自席で起立)

以上、紹介を終わります。

これより議事に入ります。

○議長(菅野吉記君) 日程によりまして、日程第1 議席の一部変更の件を議題に供します。

本件は、会派の異動に伴い、議席の一部を変更しようとするものであります。

お諮りいたします。

本件は、お手元の議席表のとおり決しまして御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(菅野吉記君) 御異議がないと認めます。

それでは、さように決定いたしました。

この際、議事の都合により副議長と交代いたします。

(菅野議長退場)

(川内副議長議長席に着く)

○副議長(川内清尚君) 次に、日程第2 市会議長辞職の件を議題に供します。

本件は、本日付をもって菅野議長より、市会議長を辞職したい旨の申出がありましたので、お諮りするものであります。

お諮りいたします。

本件辞職願は許可することに決しまして御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○副議長(川内清尚君) 御異議がないと認めます。

よって、菅野議長の辞職願は許可することに決定いたしました。

(菅野前議長入場、議席に着く)

○副議長(川内清尚君) この際、前市会議長の御挨拶がございます。

63番菅野吉記君。

(63番菅野吉記君登壇)

○63番(菅野吉記君) 市会議長を退任するに当たりまして、一言お礼の御挨拶を申し上げます。

令和7年5月26日に、皆様方の御推挙によりまして議長に就任以来、公正かつ円滑な議会運営に努め、市民に信頼される議会を目指して全力で取り組んでまいりました。

この1年を考えると、神戸空港における国際チャーター便の就航を機に、神戸と世界が直接つながり、国際的な人流、経済的交流が大きく拡大し、圏域経済を牽引する神戸の役割はますます大きくなってきております。

また、海と山に囲まれた豊かな自然と暮らしが調和する本市の特徴を生かした都心・ウ

オーターフロント、既成市街地・ニュータウン、森林・里山の3つの再生の取組が進み、まちの変化が感じられるようになりました。

そして、人口減少時代にふさわしい新たな価値観に基づくこれらの取組は、国際都市神戸としてさらに歩みを進め、神戸が国内外から選ばれる都市となるため、今後も着実に進めていかなければなりません。

私は、議長職を去りましても、今後も議会の一員として、皆様方と共に、神戸市政のさらなる発展、市民福祉の向上のため、一層の努力を続けてまいる所存でございます。今後ともさらなる御指導・御鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

最後になりますが、川内副議長をはじめ、議員並びに理事者各位、関係者の皆様に対しまして、心から御礼を申し上げ、議長退任の御挨拶とさせていただきます。1年間、どうもありがとうございました。（拍手）

○副議長（川内清尚君） 菅野前議長の御挨拶は終わりました。

○副議長（川内清尚君） 次に、日程第3 市会議長選挙の件を議題に供します。

本件選挙の方法は、単記無記名投票により決します。

直ちに議場の出入口を閉鎖いたします。

（閉扉）

○副議長（川内清尚君） これより投票用紙を配付いたします。

（投票用紙配付）

○副議長（川内清尚君） 投票用紙の配付漏れはございませんか。

（なし）

○副議長（川内清尚君） 配付漏れなしと認めます。

投票箱の点検をいたします。

（投票箱点検）

○副議長（川内清尚君） それでは、1 番前田あきら君より順次投票を願います。

（投票）

○副議長（川内清尚君） 投票漏れはございませんか。

（なし）

○副議長（川内清尚君） 投票漏れなしと認めます。

よって、投票は終了いたしました。

これより開票をいたします。

開票立会人を指名いたします。

前田あきら君、

岩谷しげなり君、

木戸さだかず君、

浅井美佳君、

岩佐けんや君、

以上5名の方を指名いたします。

それでは、開票立会人の方をお願いいたします。

（5 立会人立会・開票）

○副議長（川内清尚君） 開票の結果を御報告申し上げます。

出席議員数	63名
-------	-----

投票総数	63票
------	-----

有効投票	60票
------	-----

無効投票	3 票
------	-----

有効投票中

よこはた和幸君	35票
---------	-----

黒田武志君	12票
-------	-----

森本 真君	9 票
-------	-----

あわはら富夫君	2 票
---------	-----

村野誠一君	2 票
-------	-----

以上であります。

よって、よこはた和幸君が当選されました。

議場の閉鎖を解きます。

（開扉）

○副議長（川内清尚君） この際、議長の御挨拶がございます。

54番よこはた和幸君。

（よこはた議長登壇）

○議長（よこはた和幸君） 議長就任に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

ただいま皆様方の御推挙によりまして、議

長の選任をいただきましたこと、改めて御礼を申し上げますとともに、責任の重さというものを大変痛感をしているところでございます。

今年度は、総合基本計画の始まりの年であります。夢と希望ある神戸の将来像の実現に向けては、大変重要な年となっております。また、近い将来、神戸空港の国際化によって、この国際都市神戸、まさにさらに確固たる地位を築かなければいけません。そして、その成長を市民の生活の豊かさへとつなげていかなければなりません。

議会といたしましても、二元代表制の下、議会の機能を存分に発揮し、地方自治の支えとなる私たち議会と、そして神戸市当局、車の両輪となり、それぞれの役割を果たし、神戸市民の安全・安心を守り、そして神戸をさらに次の高みへと上げていかなければなりません。そのため、私は公正・中立、そして円滑たる議会運営に邁進をしてみたいと考えております。

議会は、子供たちはじめ神戸市民に信頼され、愛されなければならないと思っています。議会は、品位と礼節を保ちながらも、皆様方の円滑なる議会運営に御協力をお願い申し上げます。就任の御挨拶といたします。ありがとうございます。（拍手）

○副議長（川内清尚君） よこはた議長の御挨拶は終わりました。

この際、議長と交代いたします。

（川内副議長退場）

（よこはた議長議長席に着く）

○議長（よこはた和幸君） 次に、日程第４市会副議長辞職の件を議題に供します。

本件は、本日付をもって川内副議長より市会副議長を辞職したい旨の申出がありましたので、お諮りするものでございます。

お諮りいたします。

本件辞職願は許可することに決しまして御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（よこはた和幸君） 御異議がないと認めます。

よって、川内副議長の辞職願は許可することと決定いたしました。

（川内前副議長入場、議席に着く）

○議長（よこはた和幸君） この際、前市会副議長の御挨拶がございます。

55番川内清尚君。

（55番川内清尚君登壇）

○55番（川内清尚君） 副議長を退任させていただくに当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

昨年５月、皆様方の御推挙をいただきまして、副議長の要職に就任して以来、本日まで大過なく市会副議長を務めさせていただくことができました。これもひとえに皆様方の温かい御指導と御協力によるものであり、ここに深く感謝を申し上げます。

市内を見渡しますと、都心・ウォーターフロントでは新たなにぎわいが生まれ、憩いとなる緑陰空間や滞留空間が整備されるなど、歩いて楽しいまちへと大きく変化しています。また、郊外においても、拠点駅を中心にリノベーションが行われ、まちが新たな表情を見せ始めております。地域の特性を生かし、住み続けたい、訪れたいと思える魅力づくりが進められていることは、神戸の将来にとって大変心強い動きであると感じております。

私は、副議長を退任いたしましても、一議員として、議会が市民の信託に応え、その責務を果たし続けられますよう、一層の努力をいたす所存でございます。

最後になりますが、任期中御指導賜りました菅野議長、議会運営に御協力をいただきました議員各位、支えていただきました市会事務局に感謝申し上げます。甚だ簡単ではございますが、御礼の御挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。（拍手）

○議長（よこはた和幸君） 川内前副議長の御挨拶は終わりました。

次に、日程第5 市会副議長選挙の件を議題に供します。

本件選挙の方法は、単記無記名投票により決します。

直ちに議場の出入口を閉鎖いたします。

（閉扉）

○議長（よこはた和幸君） これより投票用紙をお配りいたします。

（投票用紙配付）

○議長（よこはた和幸君） 投票用紙の配付漏れはございませんか。

（なし）

○議長（よこはた和幸君） 配付漏れなしと認めます。

投票箱の点検をいたします。

（投票箱点検）

○議長（よこはた和幸君） それでは、1 番前田あきら君より順次投票を願います。

（投票）

○議長（よこはた和幸君） 投票漏れはございませんか。

（なし）

○議長（よこはた和幸君） 投票漏れなしと認めます。

よって、投票は終了いたしました。

これより開票いたします。

開票立会人を指名いたします。

前田あきら君、

岩谷しげなり君、

木戸さだかず君、

浅井美佳君、

岩佐けんや君、

以上5 名の方を指名いたします。

それでは、開票立会人の方をお願いいたします。

（5 立会人立会・開票）

○議長（よこはた和幸君） 開票の結果を御報告を申し上げます。

出席議員数 63名

投票総数 63票

有効投票 59票

無効投票 4 票

有効投票中

しらくに高太郎君 34票

三木しんじろう君 12票

味口としゆき君 9 票

香川真二君 2 票

岡田ゆうじ君 2 票

以上であります。

よって、しらくに高太郎君が当選されました。

議場の閉鎖を解きます。

（開扉）

○議長（よこはた和幸君） この際、副議長の御挨拶がございます。

44番しらくに高太郎君。

（しらくに副議長登壇）

○副議長（しらくに高太郎君） 副議長の就任に当たり、一言御挨拶申し上げます。

ただいま格別の御支援により副議長の要職に御推挙いただき、心より厚く御礼申し上げます。

先ほど、よこはた議長の御挨拶にもありましたように、本年度から新たな総合基本計画をはじめ、都心・三宮の再整備や郊外・既成市街地におけるスポンジ化対策、神戸のポテンシャルを生かした多様な住宅供給、全国に先駆けて取組を始めるコベカツなど、未来を見据えた様々な具体的事業が進んでまいります。市民の信託を受けた議会といたしましても、神戸らしさを生かしながら、これからの時代に即した積極的な施策の提言と、規律ある市政運営を本市当局に求めながら、将来の神戸と市民生活の安心・安全のため、一層の努力を重ねていかなければなりません。

微力ではございますが、議長を補佐し、共に安定した議会運営を果たすことができるよう努めてまいりますので、皆様方におかれま

しては一層の御指導を賜りますようお願い申し上げます、誠に簡単ではございますが、就任の御挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。（拍手）

○議長（よこはた和幸君）　しらくに副議長の御挨拶は終わりました。

　以上で本日の日程は全部終了いたしました。

　この際、申し上げます。

　次回本会議は、来る５月15日午前10時に開会をいたします。

　なお、ただいま在席の各位には、文書による開議通知は省略させていただきますので、さよう御了承願います。

　本日は、これをもって散会いたします。

（午後２時37分散会）

神戸市会議長

菅野吉記 ⑩

神戸市会副議長

川内清尚

神戸市会議長

よこはた 和幸 ⑩

神戸市会議員

山口由美 ⑩

神戸市会議員

かじ 幸夫 ⑩

神戸市会事務局長

近都正之 ⑩

神戸市会会議録（令和8年第1回定例市会第7日）